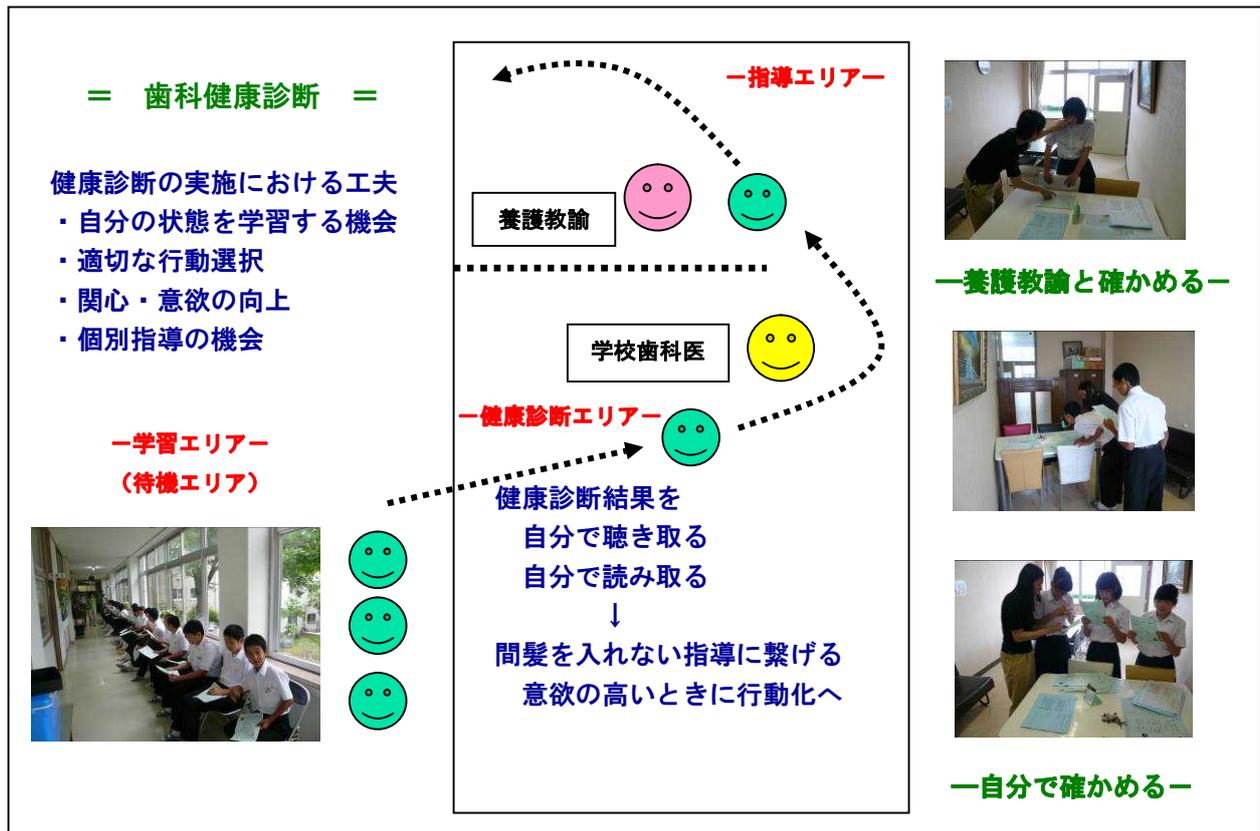


本校は、生徒が自らの学びを通して、健康の大切さに気づき、歯みがきや食生活などの生活行動を主体的に改善し、他律的な健康管理から自律的な健康管理ができる自己健康管理能力の育成を目指し、学校歯科保健を推進している。自分を律し、仲間とともに、歯みがきや食を含めた生活習慣をよりよいものにし、学校教育目標の達成ひいては生きる力の育成を目指している。

○自分の課題に気づく歯科健康診断

歯科健康診断は、「自分の状態」を学習する場として捉え、自分の課題に気づき、適切な行動選択を促している。



○仲間とともに考える生徒会活動 -行動化へのギャップ：無関心・他人意識-

「給食後に歯みがきをしていない」という事象から、「いいとわかっていることをしない」という行動化へのギャップをみつけ、その一因となる、自分たちの中にある「無関心・他人意識」という課題に、保健委員会を含めた生徒会全体で、その解決に向け取り組んでいる。



○生徒主体の学校保健委員会 -課題解決に向けての問題提起-

気高中学校生徒の課題解決に向け、学校保健委員会で生徒が問題提起を行っている。専門家の先生方や教職員及び保護者とともに、よりよい解決方法を考える機会としている。

